【 診療科：消化器外科 】
【 レジメン登録番号：SG-53 】

〈 FP + RT療法【食道癌用】〉

	投与量	投与経路	投与スケジュール（day）
			1 2 3 4 5 ・・・ 8 ◆▶ 12 ・・・ 15 ◆▶ 19 ・・・ 22 ◆▶ 26 ・・・・ 29 30 31 32 33 ・・・・ 36 ◆▶ 40 ・・・・・ 56
シスプラチン	70mg/㎡	div	○ ○
フルオロウラシル	700mg/㎡	div	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
体外照射	2Gy/day（総量60Gy）	体外照射	○ ○ ○ ○ ○ ○ ◆▶ ○ ○ ◆▶ ○ ○ ◆▶ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ◆▶ ○

【1コース期間： 56日】　　【総コース数： 1コース 】

【適応癌種：食道癌 】

【時期： 術前 、 術後 、 手術不能・進行・再発】

【休薬・減量に関する要件】

項目	基準	減量内容	休薬時の再開基準

投与プロトコール

〈day1,29〉

Rp	薬剤名	投与経路（速度）
Rp.1	フィジオ140 500mL	div（3時間で）
Rp.2	フィジオ140 500mL	div（3時間で）
Rp.3	5-HT_3R Blocker 1A	div（30分で）
	デキサート 9.9mg	
	生理食塩水 100mL	
Rp.4	マンニットールS 300mL	div（30分で）
Rp.5	シスプラチン 70mg/㎡	div（3時間で）
	生理食塩水 500mL※1	
Rp.6-①	ソリューゲンF 500mL	div（3時間で）
Rp.6-②	フルオロウラシル 700mg/㎡	div（24時間で）
	生理食塩水 500mL	
Rp.7	ソリューゲンF 500mL	div（3時間で）

〈day2～4〉
〈day30～32〉

Rp	薬剤名	投与経路（速度）
Rp.1	5-HT_3R Blocker 1A	div（30分で）
	デキサート 6.6mg	
	生理食塩水 100mL	
Rp.2	フルオロウラシル 700mg/m	div（24時間で）
	生理食塩水 500mL	

【参考文献： 】
【備考： ※1・・・Rp.5の生理食塩水の量はシスプラチンと合わせて500mLとなるようにする 】
【備考： 2012年度第4回化学療法委員会（2012年9月20日開催）にて、変更了承。 】
【放射線治療： 原則、第1日目から週5日2Gy/日，土日休み、合計60Gy照射。6週間継続（day1-5，8-12，15-19，22-26，29-33，36-40） 】
【変法情報：シスプラチン・フルオロウラシルの投与は、4週間以上の間隔をあけて施行する。 】
【変法情報：腎毒性軽減目的に投与する補液は、患者の状態によって、種類・投与量等変更されることもある。 】